

峰のひかり

発行人
 社会福祉法人 七峰会
 理事長 奥田 稔
 〒036-8356
 青森県弘前市大字下白銀町21-8
 電話 (0172) 33-8861
 FAX (0172) 33-8862

『くれよん』工事着工



山郷館にとつて3ヶ所目となるデイサービスセンターが、12月のオープンに向けていよいよ動き出しました。新しいデイサービスセンターはどんなところなのでしょう：

***名前は？**

山郷館児童・障害者デイサービスセンター『くれよん』、愛称は『くれよん』です。

***場所は？**

弘前市若葉2丁目13-1
 西側に岩木山がくつきりと見える高台の住宅地です。
 ロケーションは抜群！

***定員は？**

児童が10名（障がいのある児童が対象です）、障がい者が15名です。

***オープンは？**

平成16年12月開設予定です。

***特徴は？**

- ① 肢体不自由のお子さんも、障がいの程度・特徴にかかわらず利用できます。
- ② 学校からの迎え、自宅への送りを行います。
- ③ 児童・障がい者ともに障がい特性に配慮した環境、サービスメニューとなっています。
- ④ 山郷館3ヶ所のデイサービスセンターが連携し、障がい特性や利用地域に合わせた内容のサービスを提供します。
- ⑤ 児童から大人までそれぞれの年代に応じたトータルなサービス提供を行っている山郷館グループがバックアップします。
- ⑥ 同地には、知的障害者デイサービスセンター、高齢者のデイサービスセンターも開設予定であり、それぞれの機能を生かし、総合的支援が可能となります。利用の仕方や費用等については、お気軽にお問い合わせください。

電話 97-2211 山郷館

メール sangokan@mtj.biglobe.ne.jp



知的障害者
更生施設

拓光園

通所利 用事業

拓光園では、地域生活拠点施設を目指して、従来デイサービス、障がい児短期入所生活介護事業などを行なってきましたが、今年度より通所介護利用事業を開始しました。

これは、利用者の方に月曜日から金曜日まで拓光園に通っていただき、個々の特性に応じて作成した支援計画（ケアプラン）に沿った活動を展開し、社会適応能力を身に付けたり、働く喜びを知ってもらえるように展開されているものです。対象は18歳以上の知的な障がいを持つ在宅の方で、定員は



7名です。

現在は、男性1名、女性5名の方が利用されています。皆10代から20代の若者ばかりです。ある日の1日を紹介しましょう。

「おはようございます。」と大きな声が響き渡り、送迎車が到着するのは、午前9時頃です。朝会を行い、バイタルチェックで健康状態を把握し、その後、個々のケアプランに沿った作業創作活動等が開始され、昼食をはさんで社会体験学習や外出が3時過ぎまで展開されます。1日の最後には、帰りの会を行い、反省点などを話し合った後、帰途に着きます。

開始してまだ間もない通所介護者事業ですが利用者の方の笑顔に励まされて、これからますます活発な活動を展開していきます。

知的障害者
通所寮

拓心館

一家の主になつちやつた グループホームの先にあるもの(2)

この7月、拓心館グループの利用者6名が、弘前市北町のアパートに移り住みました。トレーニングホームから2名、グループホームから4名の旅立ちです。

一棟に6室あるそのアパートは、各2LKの造りで冷暖房も整い、一人暮らしをするには十分に快適な居住空間といえます。駅やスーパーが近い割には閑静と、環境にも恵まれ、なによりも大家さんのご配慮で、格安で入居することができました。

実は6名全員が初めから「一人暮らしをしたい」と希望したわけではありません。2名が少し迷いました。これまで長い間共同生活をしてきた人は、「仲間と一緒に住むのが当たり前」という感覚を抱きがちです。でも、一人の独立した生活を送ることがさらなる成長へとつながる場合があり、現地の見学や生活のシミュレーションを重ねた結果、踏み出してみることもなったのです。引越して約1か月、はたして6名の口からは「ザッパリした」「来て良かった」の肯定的な言葉がたくさん聞かれます。

「障がいがあっても施設ではなく町で暮らそう」という方向性は新聞やテレビでも取り上げられ、広く知られるようになりました。が、その一方で、財政の厳しさから、昨年度の知的障がい者のグループホームは、青森県に一軒も増えませんでした。そのような情勢の中、グループホーム等を経てアパート生活へ移行する人が出てくることは、一人でも多くの利用者を地域へ送り出せる潮流になる、と期待されるものでもあります。

6名の満足そうな、かつ、自信を持った顔を見ると、「これが私たちの仕事なんだ」と実感します。また、制度の不備には、一番力を持つているはずの「現場の声」を大にしてい、効率よく訴えていくことが大事だと考えられています。



特別養護
老人ホーム
ザアップルホーム

私たちの菜園

Ⅱグループホーム4年目の夏Ⅱ

平成13年サンアップルホームの敷地内に隣接された高齢者のグループホームアップルは、早いもので4年目の夏を迎えました。グループホームはご承知の通り、生活のすべてをお世話するのではなく、その方の持つ持っている機能や能力を生かし家庭と同じように役割を持ちながら生活を楽しむところです。開所当初より菜園活動を生活の一部として取り入れてきましたが、4年目の現在は菜園・果樹等で前庭の彩りも様変わりしてきました。今回は、ホーム自慢の菜園・果樹、母体施設サンアップルホームとの交流会についてご紹介いたします。

1、私たちの菜園

正面玄関から向かって左側の場所に、私たちの菜園があります。岩木山に見守られながら、苺・とうもろこし・枝豆・カボチャを中心に世話をしています。今年、Aさんは特にカボチャの成長を楽しみにしています。なぜなら、収穫後は『私の味付けでカボチャを皆に食べさせたい』と思っているからです。

2、かわいい果樹

サクランボ・梅・桃・梨・葡萄・プルーンとたくさん果樹を植えています。まだ、木の大きさとしては小さいのですが、それでもサクランボや梅は立派に実をつけました。梅は1キロ弱の収穫が樽の中で食べられる日を待っています。



3、交流会

グループホームの利用者の方は

身体障害者
授産施設
旭光園

今年の夏は超快適!!

「はあ、涼しい。」食堂内からは、こんな声が聞こえてきます。念願であったエアコンがついに食堂内に設置されました。なんと、秘密兵器まで引き連れて・・・旭光園の食堂は、廊下とひと続きで壁やドアは付いていません。「そんな所にエアコンを設置しても無駄なんじゃない？」と言う声も聞こえてきそうですが、そこは

秘密兵器の登場です。

入り口の上から空気を送り込み、食堂内の冷気が廊下に逃げない様に風の壁が出来るシステム、「エアーカーテン」と呼ばれるものです。おかげで、作業場にもなる食堂は、煩わしいドアの開閉の必要もなく、自由に往来ができれば晴らしもそのままです。無論暑い日の食事時も夏バテする事もなく、ゆつたりと心地よく食事が出る様になりました。

また、作業場にも変わる食堂は以前とは別世界の様に、軽作業・弱電作業・箸検品作業がはかどり、暑い日でも作業生産力がアップしています。

『エアコン』が設置されたことで夕方には、利用されている方々の憩いの場にもなり、コミュニケーションの場としても活用され、益々旭光園内の生活が快適になってきています。

旭光園ができて二十数年が過ぎましたが、少しずつ修繕・改築できる部分は工事を行い、快適な生活が出来る様心掛けて行きたいと思っております。

今年の夏は暑くても超快適!

母体施設サンアップルホームを親しみを込めて『お隣りさん』と呼んでいます。敬老会やうまいものまつり等の行事には『お隣りさん』と合同参加・交流を深めています。今年、苺・サクランボの出来が良く初めて『お隣りさん』を招待し収穫祭を行いました。晴天の下、苺とサクランボを頬張りながら「よく来たね。」「たまに客が来るのもいいもんだ。」と会話を楽しまれておりました。

開所まもなく植樹された樹木の成長と共に、グループホームアップルも花を咲かせ実を付け、一年確実に年輪を刻んでいきたいと思っております。

いわせてネット

夢叶って

私は小さなころから施設生活が長く、それが当たり前のよう暮らししてきました。寮生活では多くの人たちと知り合い、一緒に生活することで親友も出来ました。また、行事などで色々な体験も出来、それなりに楽しい生活でした。小さい時はそれで不自由なく満足していくものでしたが、大人になると「何時かは施設を出て一人で生活してみたい」という思いを抱くようになります。ただ思いはあるものの実際にどうすれば良いのかわからず、回りの人に話を聞いても、経済的なこと、食事の準備、病気になった時のことなど等：心配ごとだけで、やっぱ無理かなア！と感じていました。そんな中、福祉ホームさわら建設の話を知りました。諦めかけていた一人での生活ですが、傍に旭光園があり何かあった時には協力してもらえるところに、これなら私にも出来るという希望がもてました。もちろん不安もあつたのですが、親姉妹も理解してくれましたので思い切って利用の申し込みをしました。入居が決まった時は本当に嬉しかったです。不安と期待が入り混じる中で新しい生活が始まり、4ヶ月近く経ちましたが、少し気持ちにゆとりが出来ました。身の回りのことなど、自分のことは自分でするという、当たり前の生活がとても新鮮で、私にとってはいろいろな意味でプラスになっていると思います。一番不安だった料理も、教えてもらいながら少しずつ作れるようになり作るのが本当に楽しいです。大きな言い方かも知れませんが「人生が変わった、私にも出来る」という実感があるのです。さわらでの生活ができて本当に良かったです。

藤元純子記

七峰会後援会コーナー

役員会の活動報告

平成16年6月25日、役員の見学会を行いました。市内大久保の閑静な住宅街にある設備の行き届いた建物の『山郷館デイサービスセンター弘前』の見学と機能性と快適さを追求した個室の魅力的な旭光園の身体障害者福祉ホーム『さわら』の見学をし最近の福祉の動向や、それに対する法人の対応について勉強会をしました。その後、旭光園で行なわれた役員会では、実際に行事参加を試みたいとの事で7月25日にサンアップルホーム納涼祭のボランティアをする事にしました。当日は、最高気温33・3度の猛暑でしたが約1000名の参加した納涼祭で「芋っ子汁」の販売に4名の役員の方が駆けつけられ汗だくの大奮闘でした。「大変助かりました。」とサンアップルホームでは感謝しています。

活動する七峰会後援会にする為に活動する役員会の動きについて今回は報告させていたできました。(事務局)



<p>総合支援</p> <p>弘前市委託事業 身体障害者相談支援事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2400</p> <p>青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-4520</p>	<p>知的障害者援護</p> <p>拓 心館 TEL 82-4520 地域生活援助事業 生活自立訓練事業 地域生活支援センター 勇心学園 光園 TEL 96-2331 通所利用事業 自活訓練事業 拓光園デイサービスセンター 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児短期入所支援センター</p>	<p>身体障害者援護</p> <p>旭 通所相互利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業 身体障害者福祉ホーム さわら</p> <p>山 郷館 TEL 97-2211 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター弘前 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター黒石</p>	<p>特別養護老人ホーム</p> <p>弘前市委託事業 サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p>	<p>居宅介護支援</p> <p>山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131</p>
--	---	--	---	---